

令和元年度小松市立符津学校 学校評価2

	目標・具体的取り組み	取組の状況（中間・8月提出）	取組の成果と課題（年度末・3月提出）
生徒指導	魅力ある学校づくり		
	5つの気プラス1（元気・やる気・勇気・本気・根気・陽気）の内、「やる気」と「陽気」に重点を置き、何事にも明るく前向きに立ち向かう意欲や挑戦する心を育成していく。各種行事や集会、児童会活動や縦割り活動において自己決定の場や、認め合う場を設定し、自己有用感を高められるようにする。		
特別支援教育	不登校児童の抑制		
	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人一人が認め合える学級づくりをする。 ・問題行動や不登校傾向の早期発見に努める。 ・校内委員会を開き、効果的な支援について話し合う。 ・「児童理解の会」を持ち、全職員で共通理解を図る。 ・外部機関とも連携し、支援に生かす。 		
道徳教育	重点項目についての児童・教師の意識の向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳ノートを使い、児童に自分の心の変容に気づかせたり、教師が児童一人一人を見取ったりできるようにし、道徳の評価にもつなげていく。特に重点項目については機会ごとに呼びかけを行い、学校全体で意識を高める。 		
読書教育	読書の質の向上		
	<ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジブックを整備し、チャレンジブック読書月間を設けたり、本の紹介など内容に興味を持たせる企画をしたりして、良書に親しませていく。 		
キャリア教育	系統的・計画的にキャリア教育を推進する		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学級活動や総合的な学習の時間を中核として、年間計画に沿って実施する。 ・体験的活動や啓発的活動を地域の人材に招聘し効果的に活用する。 		
保健健康教育	〈自分の心身の健康に関心を持ち、生活改善をする〉		
	<ul style="list-style-type: none"> ・生活点検やアンケートで自分の生活を見直す機会を持つ。 ・学校保健委員会や児童保健委員会で元気に学校の活動に臨むには何が必要なのかを考える場を設定する。 		
情報教育	情報モラル教育の推進		
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報教育年間指導計画に則り、各学年の実態に応じて、情報モラル についての授業を各クラス1時間以上設定し、情報社会における正しい判断や望ましい態度を育てる。 ・メディアルールを決め、生活点検でメディアとの付き合い方について見直す機会を持つ。 		
家庭・地域社会との連携	地域に開かれた学校		
	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事や育友会活動を通して、情報発信だけでなく情報収集も行い、保護者や地域との連携を深める。 ・総合や生活科や社会科や特別な教科道徳などの学習活動で、保護者や地域の方の人材活用を積極的に行う。 		

学校関係者評価	
---------	--